2026年度　西柴小学校地域防災拠点訓練

「災害時の水配給便利グッズ」の紹介チラシ

【災害時の水の確保】

厚生労働省の基準：飲料水 1 人 1 日 3L

生活用水は別途必要（トイレ・洗濯・清掃など） **約 10～20L/日**

最低 3 日分、できれば 1 週間分の備蓄が推奨

【家庭の水道が使えなかったときは】

西柴小学校拠点（避難所） で配給します。

- 備蓄庫に保管している水缶（原則：避難所に避難した人の分）
  500ml／缶　2000缶備蓄　（約100人の3日分相当）
- 緊急給水栓からの水配給
  ＜水道局の職員が来た時より配給スタート＞
- 横浜市給水車からの水配給
  ＜給水車が西柴小学校まで通れるようになってから＞

＜＜それまでどうする！！＞＞

日頃より災害時の備えとして自宅に備蓄してください。

通常の持ち歩きが出来る500mlペットボトルをケース（24本入り）で買って

ローリングストック（使って補充）で保管すると良いでしょう。

【西柴小拠点に水をもらいに行くには】

① 水を受け取る容器を準備してください。

② 配給を受けた水容器はご自身で運んでください。

＜運べない時は運営委員が支援いたしますが時間がかかります＞

③ 運ぶ手段として手で持って運ぶのは大変です！

リック方式の背負って運ぶか、 キャリーカート（手押し車）があると楽です。

―― 裏面に続く ――

【水を運ぶのに便利と思ったグッズの紹介】

令和 8 年 9 月 11 日（金）に市内給水栓で実施した水質検査において、水道基準値を超過する**トリクロロ酢酸**が検出されました時、
水道局が応急対応として配給していた、



「給水バック背負える非常用給水袋６Ｌ」を
紹介します。
インターネットで２ケ購入してみました。
１３２０円＋送料（７７０円）＝２０９０円
（１回の購入個数が多いと単価が下がります。）

【体験してください】

６Ｌの水を運ぶ時

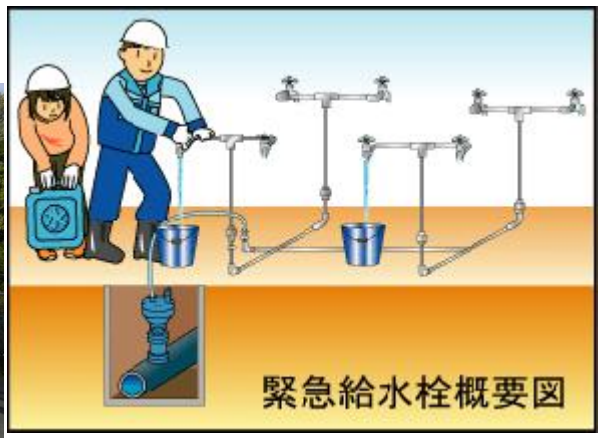
① 「給水バック背負える非常用給水袋６Ｌ」で運ぶ
② ポリ容器で運ぶ
③ ２Ｌ ペットボトル ３本をリックに入れて運ぶ
④ ２Ｌ ペットボトル ３本をビニール袋に入れて運ぶ

※ 家に戻ったら水6Lを運ぶグッズがあるか探してください。

以上

西柴小学校
緊急給水栓の写真





―― 表面 も 見てください ――